

2014年度 上半期(4～9月)の経営概況と下半期の課題



遠くに蔵王連峰を望む

**安倍政権の独裁・腐敗の政治から、
医療・介護を住民の手に取り戻そう！
上半期の経営到達から前進をつくり出すため
全力で取り組みます**



専務理事 横山 公樹

厚生協会だより

2014年11月21日
第 328 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：横山 公樹

はじめに

2014年度も上半期(4月～9月)が過ぎ、3月期末決算まで残すところ4ヶ月余りとなりました。今年度は、全国の医療機関に衝撃を与えた診療報酬マイナス改定と消費税増税でスタートしましたが、地域医療の危機が急速に進行しています。

診療報酬改定

— 全国的な危機

診療報酬改定は、団塊の世代全てが75歳以上となる時代に対応する「2025年モデル」実現を目指す改定とされ、急性期入院とDPC要件見直しによる7対1急性期病床の絞り込みが本格的に行われています。その結果、多くの医療機関が大幅な減収・減益に直面しています。その上に消費税増税が重くのしかかり経営悪化に拍車がかかっています。

全日本民医連の上半期調査(モニター30法人)でも、法人の7割が赤字、7割の法人が経営悪化、消費税増税を含

め費用の伸びが収益の伸びを上回っています。モニター30法人の経常損益は前年度41百万円(収益比0.0%)、黒字が今年度は▲11億円(△0.9%)の赤字と急激に悪化しています。

宮城厚生協会も例外ではなく、10月からの下半期に経営をどう立て直していくか、民医連運動の真価がためされる重要な岐路に立っています。

上半期経営の特徴

— 薄氷を踏む到達

宮城厚生協会の上半期経営の特徴の一つは、診療報酬マイナス改定の減収圧力に耐えながら15百万円とわずかながら増収結果をつくりだしていることです。全27事業所のうち17事業所が増収となりました。

二つには、経営の最終結果を示す当期損益が補助金や公益寄付金を含めて54百万円の黒字になっていることです。これを受けて、純資産(自己資本)は期首6億93百万円が9月末に7億48百万円に改善しています。

下半期重点課題
—経営改善は待ったなし

事業収益の予算かい離は2億を超え、経常損益は▲2億60百万円の赤字です。この赤字を縮減することなしに、今後の経営展望は語れません。

■下半期の重点は、入院収益

上半期はこのような前進面もつくりだしていますが、事業収益の予算かい離と経常損益の赤字が大きく、薄氷を踏む経営状態が続いています。



坂総合病院100周年記念式典



仮設住宅での健康相談会

の増加に取り組むことです。

- 坂総合病院ではDPC分析にもとづき診療科別ヒアリングを実施し病院管理部と科長・診療科が課題認識を共通にした対策を強めています。
- 長町病院は12床を新たな病床機能の地域包括ケア病床として届出、新病院の施設機能の発揮を図ります。
- 古川民主病院は機能強化型在宅支援病院及び地域包括ケア管理料(6床)の対応を進めています。
- 泉病院では他院との連携強化による入院患者確保の取



坂総合病院職責者会議での経営検討

り組みなどを強めています。

- 各事業所でも新たな模索が開始されています。この間、補強した人員体制の力を収益増加にフルに発揮できるよう、各事業所、部門ごとの検討を進めます。

全事業所・全職員の力を結集して待ったなしの経営改善に取り組めます
 皆様のこれまでも増す力強いご援助を改めてお願いいたします。



【上半期の経営成績】

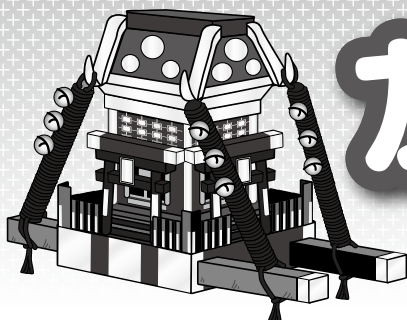
(単位:百万円)

	実績	予算比	前期比
事業収益	7,423	△222	+15
うち入院	4,171	△204	△36
外来	2,123	△20	+4
介護	747	△3	+25
事業費用	7,690	△67	+289
うち人件費	4,977	△66	+119
経費	740	+60	+42
減価償却費	355	+0	+50
消費税	179	△5	+70
事業損益	△267	△154	△274
経常損益	△260	△157	△274
特別損益	315	△4	+265
当期損益	54	△162	△31

【事業所別 経常損益比較】

(単位:百万円)

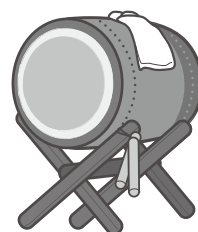
事業所	坂合計	長町	古川	泉	診療所	歯科群	訪問群	事務局	合計
上半期	△131	△99	△11	1	△17	1	15	△18	△260
対予算	△157	4	3	3	△1	1	4	△15	△157
対前年	△204	△102	△4	3	4	0	7	0	△296



友の会 健康まつり



各地域で 大盛況!



第27回大崎健康福祉友の会古川支部

晴天にも恵まれ、病院駐車場で1100名超の入場者で盛大に開催できました。オープニングは今年も元氣いっぱい「二小ソラン」。記念講演は、「守ろう九条、自衛隊員を死なせてはいけない」と題して、鹿野文永氏（元鹿島台町長）に講演していただきました。安倍総理の暴走をストップさせるには、反対の意見書や決議、裁判闘争など全方位の行動や運動が必要であると強調されました。藤裕会の皆さんのすばらしい味線演奏や民謡もありました。午後は勇壮な「高倉ひこばえ太鼓」で開幕。お楽しみ演芸発表会では熱のこもった数々の演技に大いに盛り上がりました。今年も、友の会と病院・事業所が体となつて取り組み交流を深めました。また、友の会と地域との結びつきが広がったすばらしいまつりになったのではないかと思います。

癒しの
ハンドマッサージ



会員のみなさん
による合唱

9月14日
1100名超

仙台南健康友の会

「仙台南健康友の会」と名称を変更して初めての健康まつりで、1100名超の方々が参加しました。いつもの蛸薬師に加え、長町病院北棟1階も会場となりました。ステージは恒例の長町中学校ブラスバンド部や伊達たぬきのよさこい踊り、Dr平野井のマジックショー、サークルやブロックの出し物、「ひらお二座」の寸劇などで構成。ステージ初企画のスマイリー・チバさんの腹話術や東北大学合唱サークル「パリオス」のアカペラなども好評でした。エンディングはチャリデーイングサークル・クラブスの元氣なダンス。大きな拍手と声援が沸き起こりました。健康相談コーナーと子どもコーナーは、長町病院北棟を会場に。初めてでもあり不安もありましたが、たくさんの方にご来場いただきました。この成功を力に、「友の会月間」に取り組んでまいります。



スマイリー・チバ
さんの腹話術



「パリオス」のすてきな
アカペラ

9月30日
1100名超

第18回泉病院友の会

台風18号の接近中であつて肌寒い一日となりましたが、心配された雨も降らず何とか無事に終了できました。賀茂神社大駐車場を会場に開催し、約1000名の方々に参加いただき楽しく交流を深めることが出来ました。血圧・骨密度を測定して健康チェック、泉館山高校吹奏楽部の演奏に元気をもらい、懐かしい友人との二年ぶりの再会。こども薬剤師体験コーナーも登場。の可愛い演奏に癒され、胸をときめかせた大抽選会。美味しい「仙でお腹を満たし、楽しく充実した一日でした。4年ぶりに出演してくれた「ヨーデル・チロリアン」は見事な演奏と歌声で魅了し、参加者のみなさんを、爽やかなスイスアルプスの高原に誘ってくれました。ヨーレイ、ヨーレイ、ヨーレイ、ヨーレイ。



泉館山高校吹奏楽部の演奏に元気をもらう



「ヨーデルチロリアン」の見事な演奏

10月05日
230名10月05日
約1000名

第15回大崎健康福祉友の会加美支部

やくらい文化センターで開催。地元の葉鳴太鼓で幕を開け、記念講演は「超高齢社会・多死社会を迎えて地域医療を再考する」と題して公立加美病院在宅診療科医長・横山成邦医師(中新田民主医院初代院長・横山成樹氏の長男)に講演していただきました。加美郡内の医療統計を駆使し、在宅診療のリアルな報告、政府の進める医療・介護・福祉の矛盾を解明し、判りやすくお話しいただきました。特別出演は小鳩幼稚園の虎舞などの演舞と、コーラスこだまの皆さんの合唱。時宜にかなった今回の企画、3地区から「放射性廃棄物最終処分場建設断固阻止、詳細調査をさせない」の住民のリレートークを行いました。第2部は会員のお楽しみ発表会。歌も踊りもプロ顔負けの出来栄で、文化水準の高さに会場から拍手喝采が送られました。「いがったーいがったー」参加者の皆さんの顔が生き生きと輝いていました。

コーラスこだまの
すてきなハーモニー

小鳩幼稚園の虎舞

10月05日
550名超

第13回若林健康友の会

若林区の六郷市民センターで開催。オープニングは地元の子供達のかわいらしい「チアダンス」。水戸部所長の講演「心臓の検査について」は、4月から若林クリニックで検査可能になった24時間心電図と心臓エコーの紹介を兼ねた分かりやすい話でした。健康コーナーでは、「骨密度測定」「健康相談」「薬の相談」を行いました。今年初めての「ハンドマッサージ」は大好評で「手だけでなく、身体までもほてり気持ちよかった」の声。また「笑うヨガ」では会場いっぱい笑いが出ました。毎年恒例の「無料の激うまお弁当」は昨年以上のおいしさにおかわりする



「チアダンス」

第36回坂総合病院友の会

雲つないさわやかな青空の下、塩釜ガス体育館で開催。オープニングは「キッズチアダンスサークルWINGS」によるかわいいダンス。その後、多賀城高校の合唱、みやぎ生協栄町店のフラダンス、童謡をうたう会、東北大星陵アンサンブルと続きました。昼には、来場者も加わり「友の会音頭」など踊り、締めは和太鼓演奏連「千賀」の勇壮な「千賀太鼓」。最後はお楽しみ大抽選会。展示コーナーでは作品に見入り体験コーナーにも多くの方が。今回は坂病院100年史写真パネルが展示され、懐かし

10月19日
1800名

第9回大崎健康福祉友の会遠田支部

本小田田コミュニティセンターで開催されました。記念講演は「私たちの医療・福祉はどうなるのか」と題して、山田裕先生にお話しいただきました。社会保障と税の一体改革で医療・介護がますます切り捨てられていく状況に対して、国の主人公は国民であり、憲法を読み返し、想像力を磨きながら確かなものを見方考え方をしていくことが重要と話されました。特別出演は、伝統芸能を継承する会の「不動堂神楽」さんによる舞が披露されました。昼食休憩はどの模擬店も大賑わいで「完売」が続出。午後の部は会員さんの楽しい演芸発表があり、最後は全員参加しての大抽選会が行われました。健康チェックコーナーも大盛況でした。展示コーナーも素晴らしい作品に彩られ、多くの方が見入っていました。来年も元気でおいししましょう。



「不動堂神楽」さんの舞



大盛況の健康チェックコーナー

10月19日
400名

今年も健康のことを考え、地元の芸能を楽しみ、地元のおいしい食材に感謝しながら、笑顔あふれる「健康まつり」でした。

る人も続出。午後は地元の仙台東高等学校吹奏楽部45人の若さと迫力溢れる演奏に皆さんパワーをもらい若返り、最後の「お楽しみ抽選会」は地元の新米2kgや若林クリニック所長賞、つばさ薬局賞なども加わり、当選率が高く、あちこちで歓声と笑顔が見られました。



オープニングは地元の子供たちのチアダンス

豚

第16回くりはら健康福祉友の会

クリニクと、隣接する栗駒コミュニティセンターを会場に開催されました。朝から好天に恵まれ、300名以上の会員さんと地域の方が参加しました。演芸会場は、小学二年生と祖母の二人で浜辺の歌のフルート演奏や、詩吟で熱唱する知床旅情など普段では聞くことのできない歌に感動の拍手がありました。また会場のみなさんと「もみじ」を合唱し職員員の「獅子舞」もありました。展示会場のクリニクでは、会員さんが日頃サークルで作成した絵手紙や書道・パッチワーク。紙人形・ちぎり絵などが展示されました。完成に半年もかけた大小の甲冑は本物にも劣らずひととき見学者の目を引きました。健康チェックコーナーには多くの方が集中し、安心してこれからはがんばれと笑顔のぞかせていました。早朝から作った豚汁とおにぎりが参加者に配られ秋晴れの健康まつりを満喫しました。



会場のみなさんと「もみじ」の合唱

10月26日
300名以上

た。フリマも売りゆき好評。健康コーナーではあちこちで行列がでか大盛況。運動コーナーでは健康運動指導士による軽運動が紹介され気持ちよさそうに体を動かしました。つばさ薬局のこども薬剤師体験やちびっこ広場では多賀レジンヤーとのジャンケン大会が。外の模擬店もあちこちからいい香りがして、こちらも人人人。



勇壮な「千賀太鼓」



100年史パネルを見ながら語り合

さわやかエッセイ



山野草



長町病院総務課施設担当 佐藤 裕 伸

何が魅力か…、好きだから

多趣味な私の中でもっとも長く続いている物のひとつが、山野草栽培です。

3歳くらいの時には近所の山から掘って来ては庭に植えていましたからもうかれこれ37年は花と付き合っています。

何が魅力かと聞かれれば、好きだからと言うのが一番の理由だと思います。

私はスマレ科、ラン科、サクラソウ科、ウマノスズクサ科、春先にだけ姿を現すカタクリ等の春植物を中心に、ほかにその土地固有の花を栽培したり写真を撮りに出かけます。

中でも、スマレとランは種類も多く花も綺麗で、毎年その季節が楽しみな植物です。

栽培できない種類

植物には普通に栽培することが出来ない種類があり、特にラン科



オノエラン



ヒメホテイラン

には多く見られます。高山植物のように暑がったりする環境要因で栽培が難しい種類もありますが、なんだかよく解らないが現状維持すら出来ないと言う種です。

ランの種を見た事が有るでしょうか。めったに見る機会はないと思いますし、ほとんど見えません。大きさは1mmに満たず、発芽に必要な栄養部分である子房が無く胚しかないからです。お米で言うところの食べる部分が無いのです。

では、発芽に必要な養分はどうするのかと言うと、特定の菌類から供給を受けてといいますか、入り込んだ菌を消化し発芽します。ランの種類に応じた菌類がいなければ発芽できません。

植物はどんな種類も多かれ少なかれ菌類と関係を持って生活しています。その菌類に依存しきってしまい、発芽から成長まで葉緑素を持たずに菌類に100%依存しているのが腐生植物、専門的には菌従属栄養植物と言います。

ラン科植物には腐生とまでは行かないまでも、生涯菌類に頼って栄養を得ている種類があり、そういった種類が栽培極困難種となっています。

カトレア、胡蝶ラン、シンビジウムといった派手さは無いものの自生している野生ランも綺麗な花が多く人気があります。

しかし、一部栽培しやすい種類を除くと上級者向けであったり、極困難種であったりと一筋縄では行かないのがランの世界なのです。



イチョウラン



レブンアツモリソウ



カキラン

花の生活史を覗き込む楽しさ

ランは究極に進化した植物といわれています。菌の利用もそうですが、綺麗な花を咲かせることにより人間をも利用し子孫を残すようになったと。

綺麗な花を見たくて栽培したり自生地を訪れたりしますが、一歩踏み込んでその花の生活史を覗き込むと、よりいっそう栽培が楽しくなったり、自生地で見える花もちょっと違って見えてくるのではないのでしょうか。

